

令和5年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県南会場

科目 ⑧放課後児童クラブに通う子どもの育成支援

- ◆ 研修教材や作成された資料を使って内容毎にエピソードを話していただいたことで、より内容が理解できた。特にケンカは解決させることを優先しない、お互いの考えの違いや葛藤を知って感情を和らげる方法を考える、いきさつを丁寧に聞く、どういう気持ちになったのか、どういう言葉を使ったら良かったのかを考える、楽しんでいるのかいじめているのか見極めることが大事というお話が印象に残りました。大人が一方向的に判断するのではなく、子どもの意見を尊重していきたいと思いました。
- ◆ 子どもたちに、放課後児童クラブをより活動しやすく、楽しい場所だと思ってもらい、また、保護者が安心して仕事ができるように、一人一人を理解し、職員間で共通理解し環境構成をしていく必要があると思いました。大事なのは常に子どもの性格や様子などを把握しておき、変化に気付くことだと思います。講師の先生が日頃仕事をしている上でのエピソード、またその対応の仕方などを話していただき、分かりやすかったです。
- ◆ 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備をし、子どもの発達段階に応じた遊び、生活ができるように支援をすること、その為にも、保護者や学校等との連携が必要となることが分かりました。支援員として、子どもや保護者にささいなことでも悩みごとなどを相談して貰えるよう、日常の話し方や顔の表情にも注意し、保護者の方が安心して自分の子どもを預けて仕事ができるように支援したいと思います。
- ◆ 子どもを預かっている以上、様々なトラブルは起こりますが、子ども達が安全に過ごすことができ、「行きたい」と思える場所であるように心がけることが大切だと分かりました。放課後児童クラブでの様子はお迎えの際等に保護者に伝えていますが、子どもを中心として家庭と職員一人一人が信頼を結び些細なことでも伝え合える関係性であることが子どもの育成支援には不可欠だと感じました。普段から丁寧な言葉づかいと誠実な対応を心がけ、良好な関係を築けるように努めたいと思います。
- ◆ 日々の育成支援の中で発見したことや子どもの様子について気づいたことに対して記録をしたり、事例検討したりすることが大切であると改めて思いました。ケガをしたり、子ども同士のトラブルが大きくなってから職員に共有することが多かったのですが、もっと細かく共有しておくことで目の前の問題が小さい段階で解決できることが分かりました。日々の業務でもそうですが長期休暇の時には特に意識していきたいと思います。